



# オリエンテーリング世論調査報告書

調査期間 2020.1.28~2.29  
調査者 原野幸男

## 実施の目的と報告

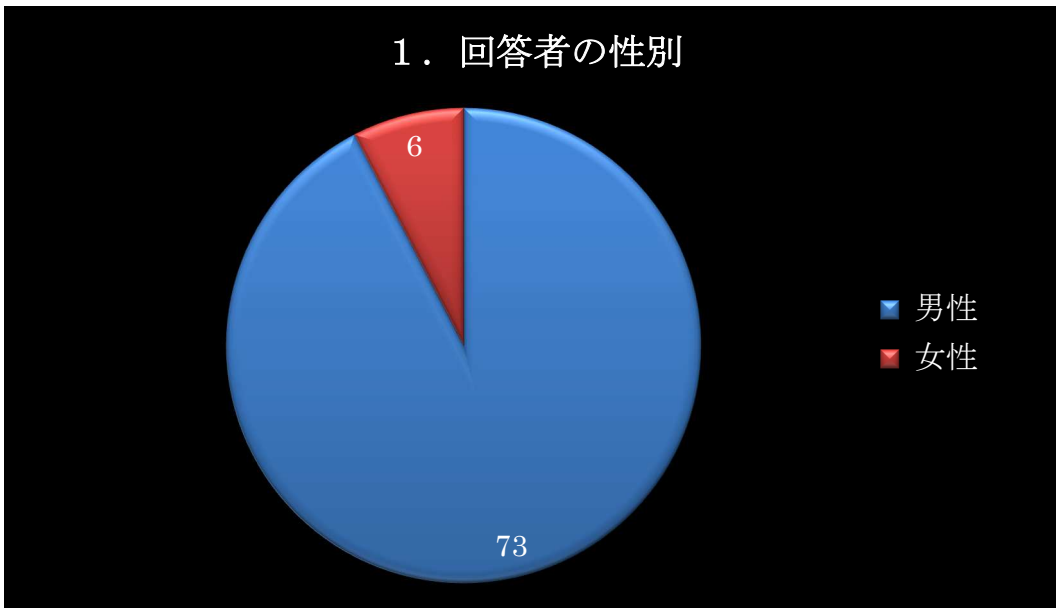
大会参加者の鍋底カーブは何に起因するのか世論調査で見えてくるのではと個人で考え実施しました。回答者から設問が偏っている、実施者の考えを正当化するための調査だ、とのお叱りを受け反省をしています。

オリエンテーリング界の将来を背負って立つ大学生オリエンティアがどんな考えなのか知りたかった事も目的でした。設問のまずさから回答者が少なく願いがかなわなかった事が最大の反省点でした。

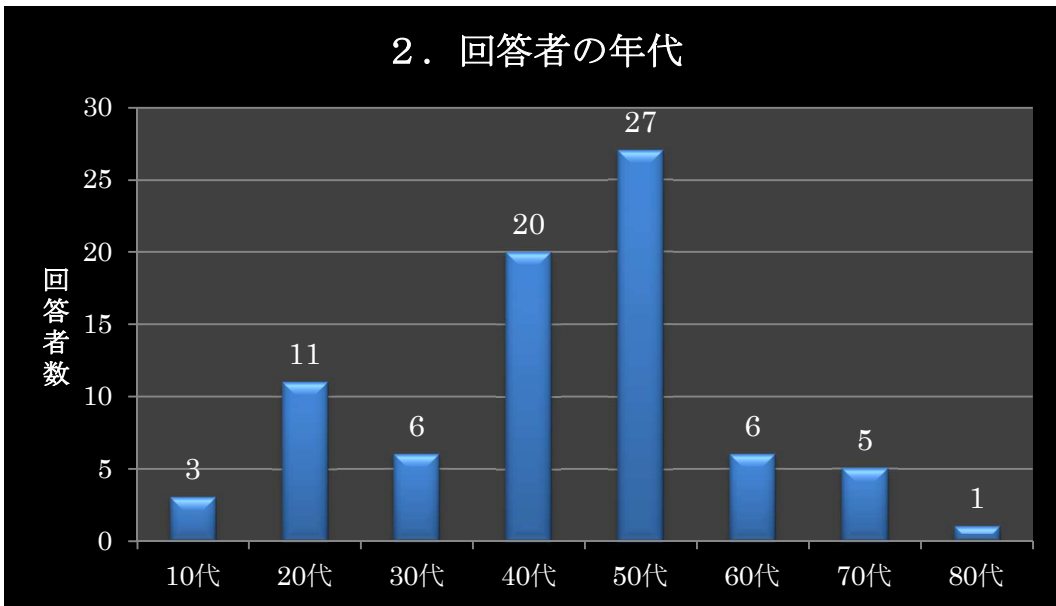
79名の回答者から様々なご意見を頂きありがとうございました。オリエンティアのお考えが垣間見えたと思っています。この様な世論調査は今までになかったと思います。参考にして頂ければ幸いです。

2020. 3. 3

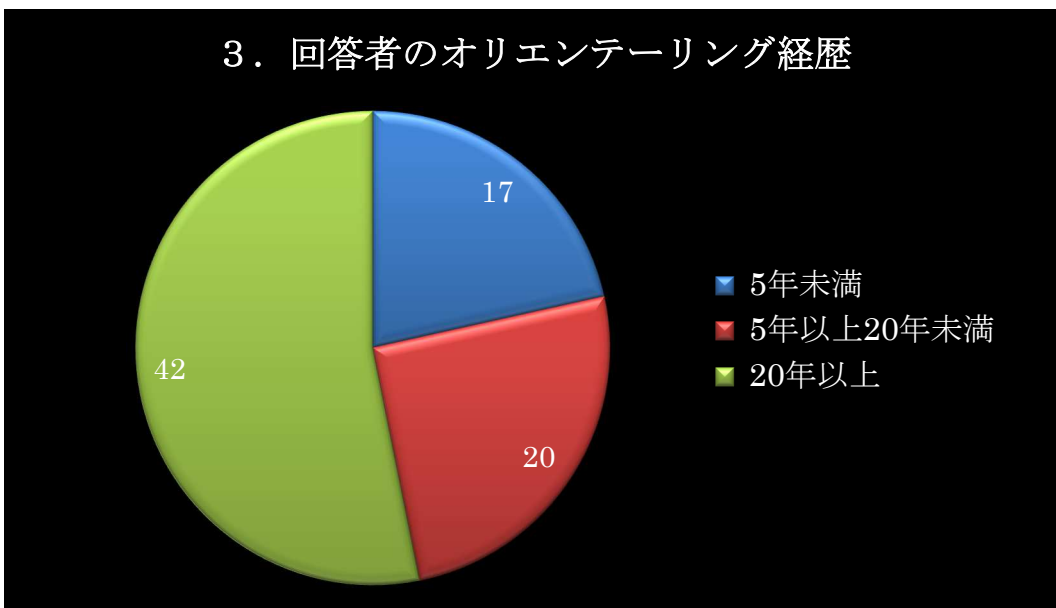
### 1. 回答者の性別



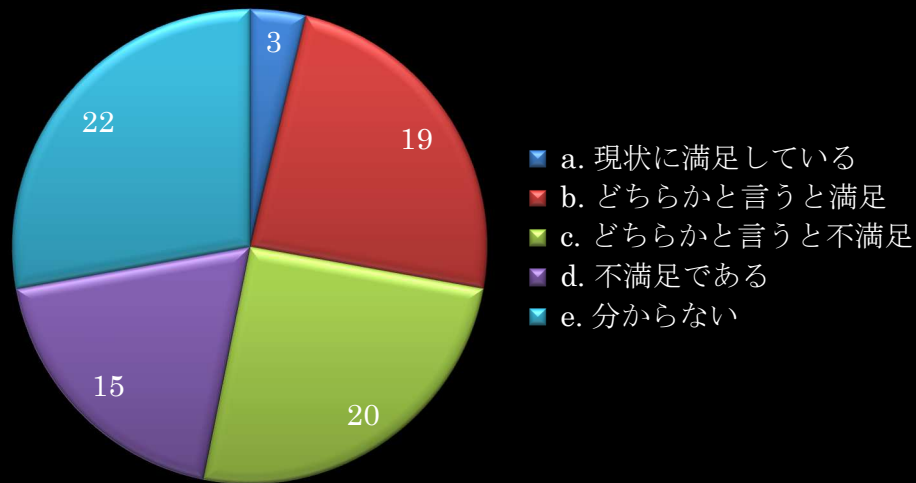
### 2. 回答者の年代



### 3. 回答者のオリエンテーリング経歴



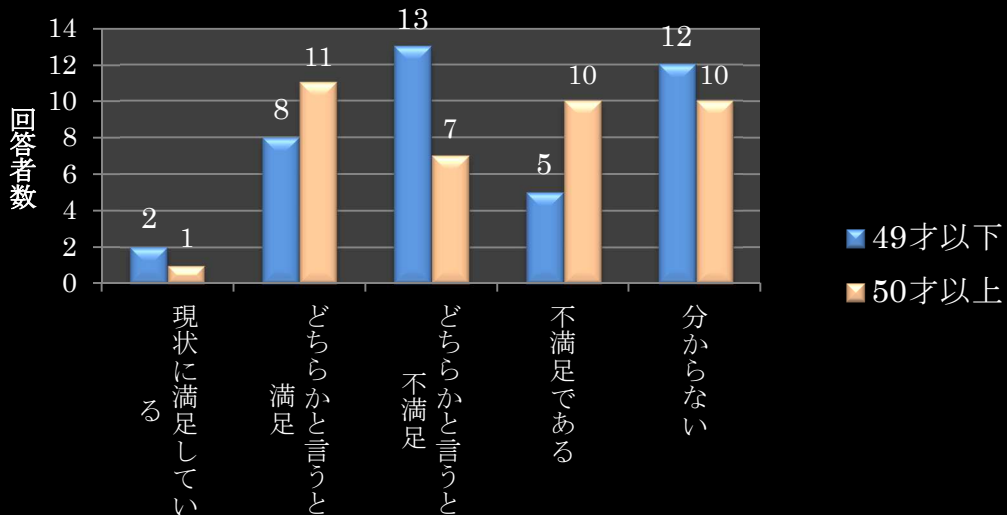
#### 4. J O Aの組織や運営についてお尋ねします



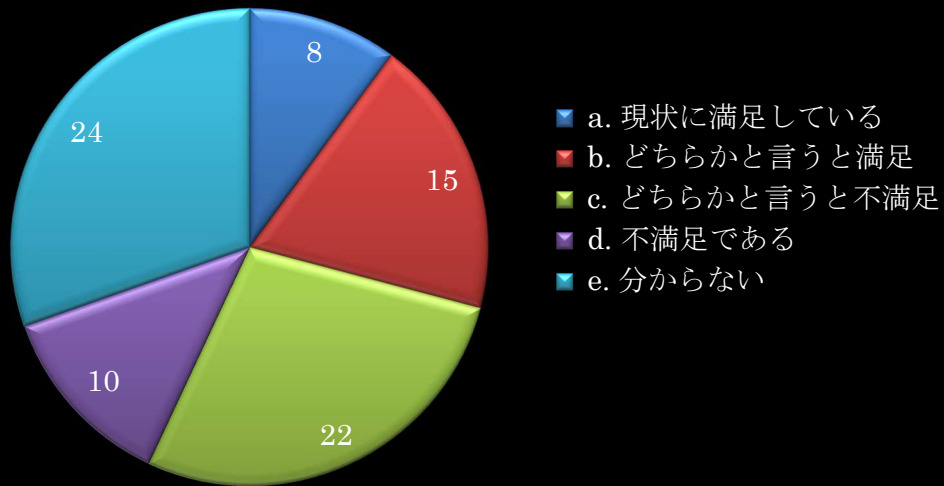
#### 5. 前問でc又はdとお答えの方にお尋ねします



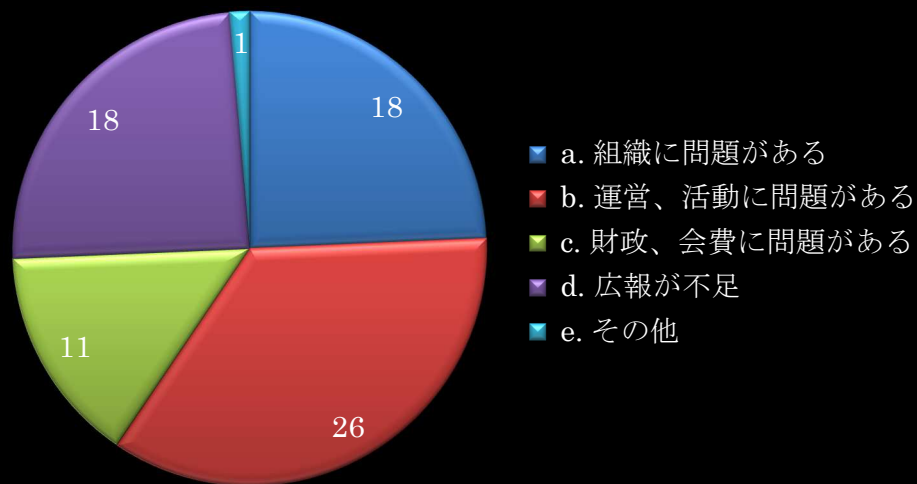
#### J O A設問の年代別分類グラフ



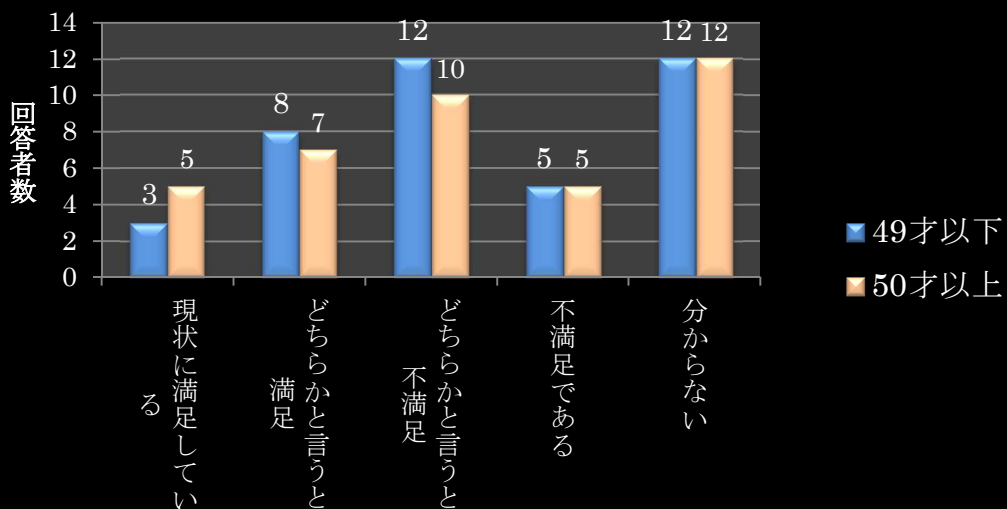
6. 都道府県協会の組織や運営についてお尋ねします



7. 前問でc又はdとお答えの方にお尋ねします

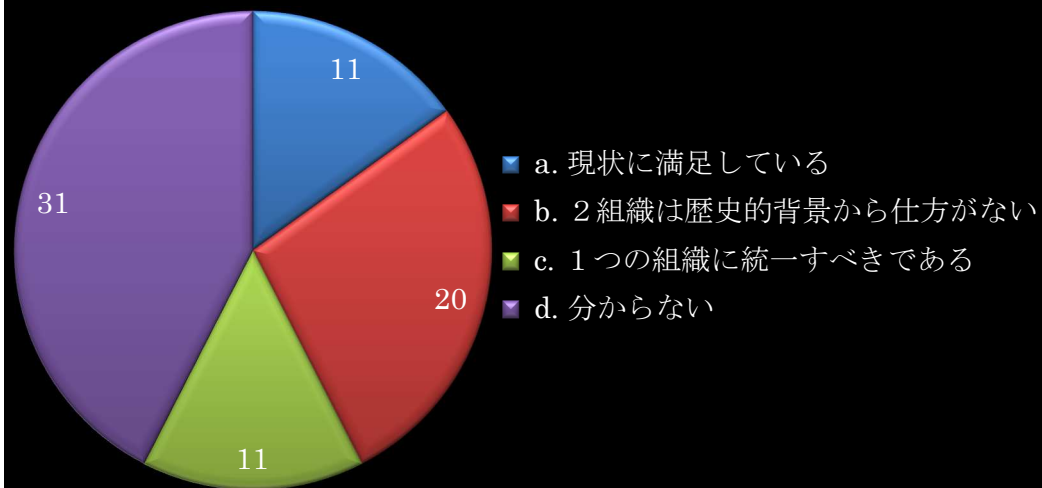


都道府県協会設問の年代別グラフ

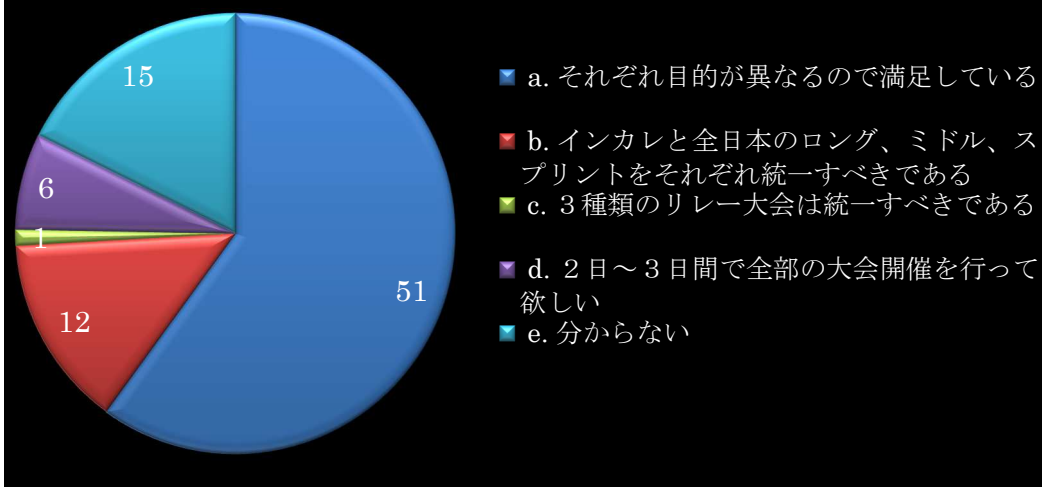




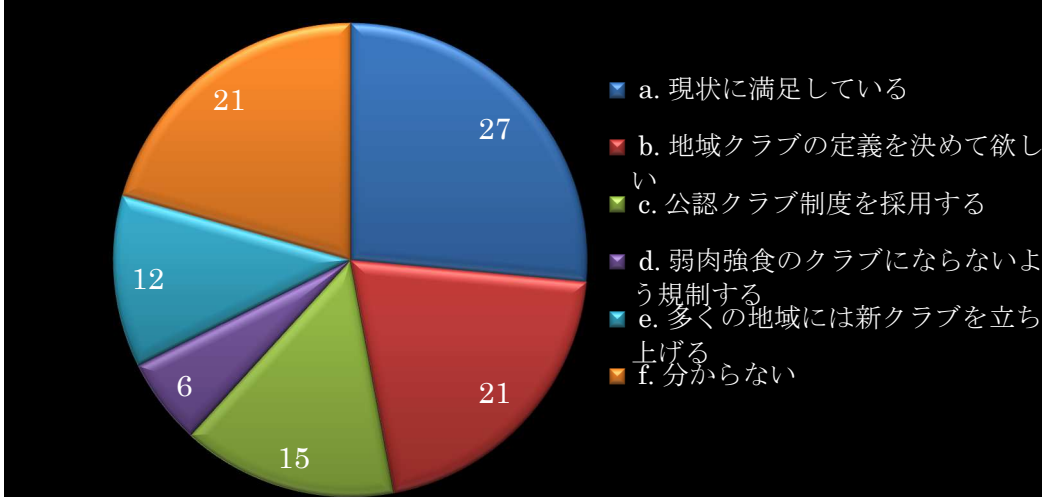
### 8. JOAと日本学連の2組織についてお尋ねします



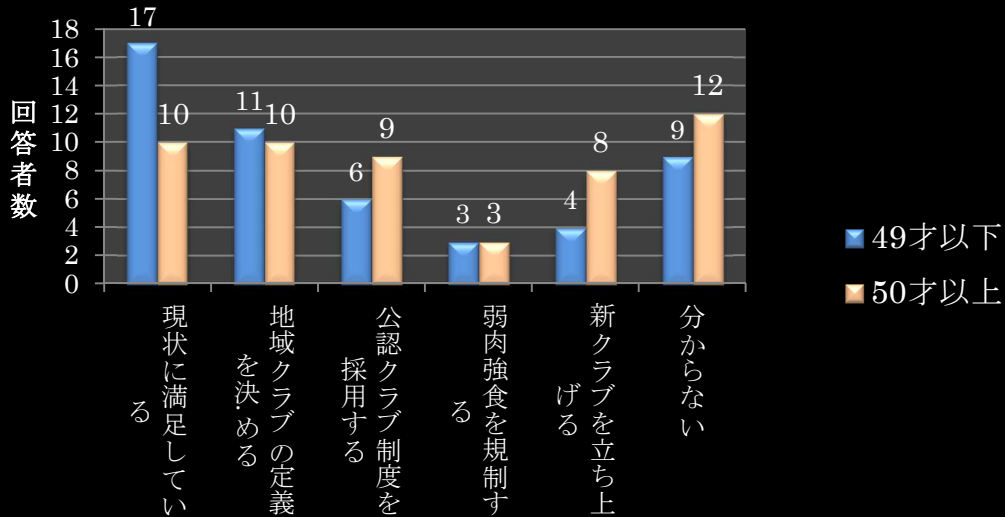
### 9. インカレと7人リレーを含め全日本規模の冠大会が合計9大会あります。そこでお尋ねします



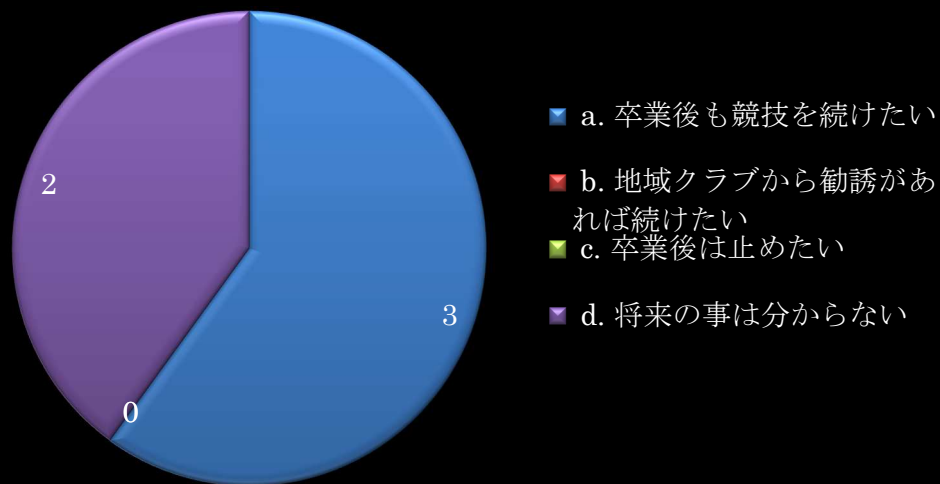
### 10. 地域クラブについてお尋ねします



### 地域クラブ設問の年代別グラフ



### 1 1. 大学生オリエンティアにお尋ねします



### 1 2. 前問でcとお答えの方にお尋ねします

0

- a. 仕事で忙しくて続けられない
- b. 仲間がいなくなる
- c. 他に楽しめる事がある

### 13. 自由記述欄です。何でもご意見をお書きください

みんな「もっと新規参加者を」と言ってるのに、参加者を待つだけで自分から努力はしない。要項もプログラムも難解な言葉だらけで初心者お断り感満載。内輪だけのノリで話が進んで、「初心者歓迎」は結局口だけ。せっかく面白いコンテンツなのに、全部台無しにしてる。

まずは若返りでしょう。50歳以上の人に改革や改善する意欲がないです。ひどい現状を若者にそれが当然仕方ないことのようにしています。

●どこまでいっても学生のノリ

○○大学○期とか??大学OBOGとか、他のスポーツに比べて身内感が半端じゃない

●エントリーするクラスが分かりにくい

M21A、W35BS、AL、OALS…クラス別が多い上に大会によって名前が違ったり、それなのにクラス別を詳しく簡潔に説明しているサイトが無い○○才以上の「以上」に気づくまで5試合かかりましたし、いまだにAは競技者登録必須なのか大会によるのかわからない

●練習場所がない

トレインは大会以外立入禁止ばかりで、どこで練習すれば良いのかわからない常時練習可、または期間限定で練習可の場所をまとめたサイトが欲しい(パーマネントのような「道のみ」以外を希望)

●部活や地域クラブが対象のスポーツに感じる

マラソンのように、初心者が1人でも、初心者の友達同士でも気軽に参加できるようなスポーツになってもらいたい競技者登録は個人でできる?県協会は必須?大会に参加するまでのシステムが複雑で初心者が個人で理解するのは大変頑張って理解しても身内のスポーツで付け入る隙もなし技術の習得は難しいが参加するだけなら難しくもないスポーツなのに参加するハードルがめちゃくちゃ高い

うーん、この調査からして硬いですね。でも真面目でよろし

私は社会人になり未経験からオリエンテーリングを始めました。「上達するには経験」とのアドバイスをいただき、ただただ時間などの都合が合えば大会に参加するという状況です。ですから運営組織のことはよく分かりません(時々FB上で組織批判的な投稿をお見掛けしますが、判断がつかないです)問9については、日本にもオーリンゲンのような大会があれば参加してみたいです。(キャンプしながら1週間いろんなコースを走ってみたい)

今の低迷はOL界が「薄く」なってしまっているのが一因だと思う。昔は「オリエンテーリング」しなかったのに、いまはスキーだトレイルだMTBだロゲインだ、とジャンルが広がった分、コアな人材が分散してしまった。トレインの枯渇、要求されるクオリティの高さ(過剰な要求)なんかも問題かと。

オリエンテーリングの存在自体を知らない人が多いと思うので、広報戦略は必要だと思います。今はトレランよりもマイナーな扱いをされているかもしれませんが、サイトの利用料が負担なのかもしれませんが、かつて見られたスポーツエントリーへの掲載を復活というか、増やした方がいいと思います。まずは、多くの人目に触れてもらうことが必要かもしれません。

公認大会の一時登録をなくしてしまったのは、ライトに楽しみたい層を遠ざけたような気がします。市民マラソンでは、陸連公認大会でも、一般枠があるケースがありますし。

運営の方は大変だと思いますが、当日参加OKという入口の緩さは残して欲しいと思います。

正直なところこのアンケートの目的が分かりません。これを集計して何の成果があるのか。厳しいことを言いますが、データだけ集めても意味がない

学生時代に競技していましたが、社会人になってからほとんど出ていません。同じマップ内をグルグル周るのでも良いので、距離の長い大会があれば積極的に出たいです。オリエンテーリング好きです。20キロとか、30キロとかの大会があると嬉しいです。トレランの長距離に出たり、ロードのフルに出たりしていると5キロとかでは物足りなくて出る気がしないです。似たような感覚で遠ざかってい

## オリエンテーリング世論調査

る人は多いと思います。20年前はフルマラソンなど走ると変態的に凄いという感覚でしたが、今はランニング始めたらとりあえず目指して当たり前に1年くらいで走れる感じで、以前より長距離が当たり前の人が多いと思います。

30台までやってましたが、今は離れてます。拘束時間が長すぎて、参加しづらい。学生は時間があるので出られますが、社会人になると拘束時間の長さに耐えられず、やらなくなる。それが大学卒業後の継続率の低下につながっているのでは、と感じています。

時差スタート、会場から遠いスタート、ゴール、これらに起因し拘束時間が長い。

公園スプリントワンマンリレーみたいな一斉スタートものや、会場が近く、好きなときにスタートでき、ゴール後はすぐ帰れるノリのイベントを数多くやってみる、そして宣伝を頑張る（マスメディアやyoutuberを活用）と、大学でやってた層の一部でも呼び戻せるのではないかと思います。ただ、それらの人を本格的な山トレインに呼び戻すのはかなり難しいです、と言うかほぼ不可能です。構造的に拘束時間が長すぎ、時間短縮にも限界があります。

時間をかけてでも、とおもわせるには、大会の演出が必要。しょぼすぎるのが課題。出てみたい、と思わせるような取組が必要かもしれません。他競技を参考にすると良いかも。

高校生以下への広報が圧倒的に足りていないと思う。改善を期待したい。

アンケート設定者のお考えの正当性を裏付けるために統計を取っているような設問に思えます。

地域クラブに入ると何らかの役職や上部協会の仕事を任されてしまう。これらは気楽に続けるにはかなり荷が重いと感じます

**Q8** 「民主的で完全な統一組織」というものが何を指しているのかわかりません。学生の数が多いのであれば、その意見が反映されるのが民主的なのは？

**Q9** 「2～3日で全部」というのは乱暴ですが、複数日の大会が増えるのは遠征のしがいがあって楽しくなるとは、思います。

JOAの組織としては、ボランティア状態でよくがんばってくれていると思います。ただ、競技者登録や指導者制度など、登録者にメリットがない今の状態はなんとかすべきだと思います。

JOAは学連OBによる学連のため、できそうもない世界に通じるエリート育成のみに特化し（みんなのスポーツOL）を放棄している。またコスト意識も最悪。コストのかかる（距離が長く難易度が高い）21E・21Aに参加する学生は登録料・参加費は低く、コストかからない60Aなどは高い。マラソン大会の参加費は当然のことながら、フル五千元、ハーフ四千元、10Km 三千元 登録料なし。これが常識的なもの。JOFの常識、スポーツ界の非常識

40才を過ぎてからマラソンや登山を始めてからの流れでオリエンテーリングにはまり、公認ではない大会にも何度か参加し楽しませて頂いております。オリエンテーリング界について意見するほど分かっておりませんが、私なりの考えを書きたいと思います。

マラソン界（陸上長距離）でも、大学卒業後に陸連に登録して競技として続けている選手はごく少数だと思います。逆にオリエンティアの方が社会人になっても選手登録して全日本大会に出続ける人が割合として多いのではないかと思います。市民マラソン大会の参加者は社会人になってから運動不足解消の目的で始める人（私を含めて）が多いと思います。参入障壁がとても低く、靴を履いて玄関から出れば練習を始められます。その延長で大会に出るため40～50代の参加者が多くなっていると思います。

地図を読むのが好きで、日常的に運動をしていて、一般的な登山道以外を歩くのを楽しんでいる人は一定数いると思います。そのような層を取り込めばオリエンテーリング大会の年齢層分布が市民マラソン大会の年齢層分布に近づくと思います。しかし、そのような層にとってはオリエンテーリング大会のNやBでは1日費やしても実働時間が30分程度と短すぎます。OMMのような山岳ロゲイニングの方が魅力を感じます。

そのような層にとっては、コース閉鎖まで複数のコースを何度も回れるようにしていただくとオリエンテーリング大会の満足度があがります。（練習会風になってしまいましたが、そのような層にとってはそもそも練習できる機会が少ななので、）例えばNS, NM, NL, BS, BM, BL, ASといったコースを参加料1000円+地図500円/枚で自己計時にする（LapCenterには記録を載せて欲しいです）。富士のサマ



## オリエンテーリング世論調査

一チャレンジのような簡易ポストで十分です。大会の雰囲気を感じられますし、ステップアップしていずれば大会で競いたいと思う人も一定数はいると思います。レースが終わった選手がアドバイスをくれると嬉しいですし、**OMM**のような山岳ロゲイニングとは違った高速ナビゲーションの面白さを感じられると思います。個人的には小学生の娘を連れて大会に参加しやすくなります。

新たな層が増えると遭難の危険性などリスクが増えて運営面で大変かと思いますが、コースイン&アウトのチェック、スマホの**GPS**を使ったトラッキングなどで対応できるのではないかと考えています。以上、新たな層の一人の考えでした。読んでいただきありがとうございます。

---

大学卒業後の受け皿として地域クラブは重要。多くの若手にとっては都道府県協会より地域クラブの方が身近な存在だと思う。現状、**JOA**の総会に、オブザーバ扱いでもいいので、「公認クラブ」が参加できるようにしたら、より**JOA**を身近に感じやすくなるのではないかと。

---

今の**JOA**に改善の余地が大いにあるのは異論がありませんが、外から文句言っても仕方ありません。オリエンティアひとりひとりが、当事者意識を持って変えていくしかありません。あと、設問が少し偏っているように感じました。

---

**JOA**が発足して50年目との案内でスタートしたあの、記念大会や、**JOA50**年史編纂の話題・その後はどうなったのでしょうか？

---

大学生です、まだ**JOA**や都道府県協会に深く関わっていないのでわからないことが多いですが、もう少し若く活動的な人を呼び込むような動きがあっても良いかなと感じています。

---

**JOA**は学連を迎え組織の合同を実現したかの運営を行っています理解出来ません。学連の競技者は半数以上を占めているのに議決権に至っては競技者登録がゼロの県協会と同じ1であり学連の権利は1/37しかありません。不公平で法の下での平等ではありません。定款を改正し各学生クラブに議決権1を与えるべきです。

もう一つの不公平制度は都道府県間で競技者登録が大きく異なるのに議決権数は全て1であり会費も同額です。根本問題に手を付けず小手先手段として生まれたのが会員支援制度です。「木を見て森を見ない制度」であり何れ破綻するでしょう。

学連は毎年数百名を勧誘しオリエンティアを育てている最大の普及団体です。社会人オリエンティアは学生クラブ主催の多くの大会に参加し競技を享受し恩恵を受けています。その学連に対して理事1名しか与えていません。学連理事は多勢に無勢しかも周りは強面のオジサン理事ばかり、理事会では四面楚歌になっていないか？

**JOA**の目的は定款第3条で「オリエンテーリングの発展及び振興を図る」と明確になっています。ところが現状の運営・活動は競技者中心に偏っています。**JOA**の運営はwebのトップページの「お知らせ」を見ると分かります。ここ1年間で146件の情報を発信しています。その90%がエリートと競技者向けであり一般向けはたったの14件です。競技者に気を配り過ぎて裾野を疎かにする運営をやっています。今や**JOA**は定款の目的とかけ離れた運営を行っているので実態に合わせ「競技者の発展を図る」と定款の改訂を提案します。

---

意見を集め公開することだけでも前進と言えます。取り組みいただきありがとうございます。まずは、**JOA**はオリエンテーリング愛好者、競技人口の拡大をもっと明確に積極的に打ち出すべきで、且つそのための広報活動に力を入れるべきと考えます。オリエンテーリングの愛好者が増えないことには、スポーツの未来が無いことは明らかです。

---

メーリングリスト、**Facebook**等では、「問題提起」「批判」「こうすれば良いのに」という机上の案(空論も多い)ばかりで、楽しくない。実際に、地道にしている良い活動(ちょっとしたことでも)を、もっと取り上げて、その活動を「いいね」する雰囲気がでくれば良いと思います。**O-News**があったころは、クラブ主催の大会を好意的にとりあげていただき、励みになりました。おかげで、大会開催を継続でき、ほんの少しでも活性化に貢献でき置いていると思っています。

---

学生の皆さんには、卒業後もオリエンテーリングを続けてもらいたい。そして、積極的に地域クラブに関与してもらいたい。これが、地方協会の活性化に繋がります。社会人のオリエンテーリングは間違いなく両立できます。

選択肢に「その他」がない質問があるので、実態を回答できません。また、「その他」の内容まで入力できるようにすると問題の核心により迫れるかと思います。

地図の権利に関して一定の基準を示して欲しいです。

高齢化して魅力を伝え切れていない。 OMM や OMO みたいな他の領域から人を引き込める仕掛けをもう少し考えられるのでは？

様々な余暇の楽しみ方がある現代においては、ひとつの競技に固執せずに活動が分散するのは仕方ないと思います。インターネットでいつでも誰とでも容易にコミュニケーションが取れることから、「地域」クラブの必要性も薄れてきているように思います。身の丈に合った形で楽しむことができれば、私個人としては満足です。

質問項目の選択肢が MECE でない。 いずれも自身の考えに合わないケースが多く、調査の設定として不十分ではないでしょうか。

報告書終わり